



1学期が終わりました。

～東京オリンピックが開幕します。アスリートの活躍に期待～

1 野球部夏の舞台。1・2回戦を順当に勝ち抜くも、強豪・唐津商に惜敗。夢は後輩へ。

本校野球部は7月12日(月)の1回戦の唐津青翔戦に9-0(7回コールド)で勝利し、続く14日(水)の2回戦の佐賀東を9-3で下し、声高らかに校歌を熱唱しました。続く18日(日)の3回戦は、13年ぶりのベスト8進出を懸けて、強豪・唐津商業と対戦しました。3回に3点を先制されるも4回表に2点を返し、1点差に追いつきましたが、4回裏に相手の連打に加え大事な場面でのエラーが重なり4点を奪われました。5回に1点を追加されるも、4人の投手の継投で守り切り、反撃を期待されましたが、相手左投手の130km台の速球に苦戦し、中々チャンスをものにできず8対3で敗れ夢舞台への挑戦は終わりました。晴れの舞台で「当たり前のプレーを当たり前にプレーする」ことの難しさを改めて実感した試合でした。昨年秋の新チームスタートの秋季大会では初戦コールド負けを喫したチームを4月から新監督として率い夏2勝を上げるチームに育てて上げた内田監督の手腕と野球を存分に楽しみながら最後まで笑顔でプレーする武高野球部の良き伝統の復活に取り組んだ選手諸君の見事な闘いぶりに敬意を表するとともに、これまでチームを支えていただいた野球部保護者会の皆様がこの場を借りて厚くお礼申し上げます。野球部、頑張れ!!

【1回戦】のスコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
唐津青翔	0	0	0	0	0	0	0			0
武雄	2	0	1	1	2	3	X			9

【2回戦】のスコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
佐賀東	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
武雄	0	0	3	6	0	0	0	0	X	9

【3回戦】のスコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
武雄	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
唐津商	0	0	3	4	1	0	0	0	X	8



2 「いのちを大切に作る講演会」を実施しました。

7月16日(金)に佐賀県警察本部警備部広報県民課・犯罪被害者支援室の広報事業の一環として「いのちを大切に作る講演会」を実施しました。コロナ感染予防対策として各教室に映像を配信する形での実施となりました。講演の中で、幼い3歳の娘の命を奪われたお父さんの悲痛な訴えがあり、犯罪者からだけでなく、SNS上での世間のない誹謗・中傷による二次被害に家族全員が苦しめられ、一家心中も考えるほど追い詰められた状況だったという生の声に生徒たちは真剣な眼差しで耳を傾けていました。



3 今週の名言・・・大谷翔平の言葉です。

どうすべきかを考えながらやるのが大切です。同じことをやっても、成長の度合いが全然違います。誰かがやった後に続くんじゃなくて、誰かがやったことをやるんじゃなくて、その上をとにかく超えていく。何か大事を成し遂げた人って、人々が無理だって不可能だって言ったことに対して「いや、できる」と思ったものが新しいものを作っていた。「もしかしたらできるかもしれない。もしかしたらできないかもしれない。その部分に挑戦したい」

【解説】現在ア・リーグのホームラン1位、打点2位の記録でエンゼルスを牽引し、メジャーリーグのオールスターでのホームラン競争や投打二刀流での出場を果たすなど見事な実力と誰からも好かれる人間性・キャラクターで絶大な人気を誇っている大谷選手の言葉です。暗い話題の多い中、日本人を勇気づけている大谷選手の活躍から目が離せません。

【大谷翔平について】MLBのロサンゼルス・エンゼルス所属。高校3年時に当時高校生最速となる160km/hを計測。2012年のNPBドラフト1位で北海道日本ハムファイターズから指名され、13年の入団以降、投手と打者を両立する「二刀流」の選手として試合に出場した。14年には11勝、10本塁打でNPB史上初となる「2桁勝利・2桁本塁打」を達成。16年には、NPB史上初となる投手と指名打者の両部門でベストナインのダブル受賞に加え、リーグMVPに選出された。投手としての球速165km/hは日本人最速記録とNPB最速記録である。17年オフにロサンゼルス・エンゼルスに移籍。18年から投打にわたって活動し、同年は日本人史上4人目の新人王を受賞した。

4 今週のお話成語・・・「夏炉冬扇」【問題】英語で表現すると？

時期はずれで役に立たない物事のたとえ。 (出典：『論衡』より)

【由来】夏の囲炉裏や冬の扇は、時期がはずれていて役に立たないことから。『論衡』に「益無き能を作し、補う無きの説を納るるは、夏を以て炉を進め、冬を以て扇を奏むるなり(役に立たない才能を振りかざし、役に立たない意見を君主に提出するのは、夏に囲炉裏をすすめ、冬に扇を差し出すことと同じだ)」とあるのに基づきます。

5 どこがおかしい日本語(その16)・・・どこが間違いかわかりますか？

①みっともありませんでした。 ②とんでもございません。 ③理解しづらい ④ご多聞にもれず、マーケティングに力を入れ始めた。 ⑤短刀直入に言います。

6 今週の一冊・・・夏川草介の『臨床の砦』(新潮社)です。

現役医師としてコロナ禍の最前線に立つ著者が自らの経験をもとにして克明に綴ったドキュメント小説。2009年に第十回小学館文庫小説賞を「神様のカルテ」で受賞し、シリーズ(既刊5冊で累計337万部)を書き継いでいる夏川草介氏は、現役の内科医でもあります。コロナ禍の最前線で多くの患者さんと向き合う日々が、一年以上続いています。本書は、著者が2020年末から21年2月にかけて経験したことを克明に綴った、現代版『ペスト』ともいえる記録小説です。

(参考：出版社編集担当者解説より)

【解説】図書館の新刊本コーナーで、「この戦、負けませぬ」のフレーズが目にとまり読んだ一冊です。コロナ禍の終わりが見えない日々が続いていますが、第5波の只中にある今、改めて医療現場の過酷な状況を再認識させてくれる本です。作者である夏川草介氏は、長野県の病院に勤める現役の消化器内科医で、2009年に小学館文庫小説賞を受賞した『神様のカルテ』が大ヒットし、人気作家になった方です。その後も『神様のカルテ』の続編シリーズや、『始まりの木』などを多忙な勤務の合間に精力的に執筆し、刊行しています。その夏川氏は現在、勤務先の病院で、COVID-19の診療に携わっています。コロナ禍の最前線で、『臨床の砦』の主人公、敷島と同様、医師として実際に目の当たりにした厳しい現実をどこまでも生々しく、リアルに描いた、いわばノンフィクション作品と言ってもよい内容です。「この戦、終わりますね」と言える日が一日も早く来ることを願って本書を推奨します。医療系の進学を志す武高生必読の一冊。

【作者・夏川草介について】1978年大阪府生まれ。信州大医学部卒。2009年「神様のカルテ」で第10回小学館文庫小説賞を受けて作家デビュー。同書は10年本屋大賞2位にもなった。シリーズ化し累計発行数は337万部。一部はドラマ、映画化されています。他に「勿忘草の咲く町で安曇野診療記」など。(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

7 世界遺産を巡る・・・第16回は平泉一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群一

【解説】平泉は、11世紀～12世紀の日本列島北部領域において、仏教に基づく (世界遺産登録年：2011年)

理想世界の実現を目指して造営された政治・行政上の拠点です。その拠点に存在する4つの庭園は、奥州藤原氏により、現世における仏国土(浄土)の象徴的な表現、つまり池泉・樹林・金鶏山頂と関連して仏堂を周到に配置することにより実体化した理想郷の光景として造営されました。4つの庭園のうち3つは、神聖な山である「金鶏山」に焦点を合わせており、浄土思想の理想と、庭園・水・周辺景観の結びつきに関する日本古来の概念との融合を例証しています。また、浄土庭園のうち2つは、発掘調査により発見された多くの詳細事項に基づき復元されたものであり、他の2つは現在も地下に埋蔵されたまま残されています。さらに、重厚に金箔を貼った中尊寺の仏堂は、12世紀から残る唯一のものであり、奥州藤原氏の巨大な富を反映しています。このかつての巨大な政治・行政上の拠点に存在し、浄土庭園、仏堂、神聖なる金鶏山との関係を伴う4つの寺院仏堂の複合体は、平泉の財力を反映する類い希なる集合体であり、日本の他の都市の仏堂や庭園にも影響を与えています。(参考：文化庁HP『日本の世界遺産一覧』より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第16回は佐賀市「ごはん亭キー坊」(現 鹿江亭・徳進)です。

今週は「ごはん亭キー坊」です。食いしん坊グルメの人たちの中では超有名だった店なので知っている人もいるかもしれません。かつて唐揚げが13個のってくる唐揚げ定食がすごいということで話題になった店ですが、私は20年以上前からこの酢豚定食のファンでした。ただ、残念ながらオーナーと女性スタッフが高齢のため、惜しまれつつ昨年閉店しました。現在はカツ丼で有名な「丸徳」さんの関連店舗「鹿江亭 徳進」となって営業しています。新しくなって久しぶりに行って見ましたが、一人でも入りやすいおしゃべりな雰囲気改装してありました。メニューは定食・丼ものが中心ですが、人気メニューは売り切れになっていましたので、早めの来店がお勧めです。



9 保護者の皆様へ・・・学校評価アンケートへのご協力有難うございました。

【英語】◇ summer fires and winter fans ◇ useless things

【正解】①みっともないことです。②とんでもないこととございます。③理解しづらい④ご多分にもれず⑤単刀直入に言います。【解説】①「みっともない」は「みっとも+ない」ではなく、「みっともない」でひとつの形容詞です。「せつない」「つまらない」などと同じです。したがって、「みっとも」だけを都合よく取り出して「みっとも+ありません」とした①は誤用です。②先ほどの「みっともない」と同じで、「とんでもない」ではなく、「とんでもない」でひとつの形容詞だからです。したがって、「とんでも」に「ごさいません」をつけた「とんでもごさいません」は誤用です。同様に「とんでもありません」も誤用と考えるのが筋です。③「す」に「リ」か「つ」に「リ」の違いです。正しくは「理解しづらい」です。漢字で考えると一目瞭然。「理解しづらい」=「理解する+辛い(つらい)」です。辛いには「～するのが難しい」という意味があり、読むのが難しいから、「読みづらい」なのです。「分かりづらい」「書きづらい」「動きづらい」「しづらい」等々、無意識に「～づらい」を使っている方は十分に注意しましょう。

④「多分」とは「ほかの多くの例と同様に」という意味です。「多くの人にもれ聞こえること」を意味する「多聞」と勘違いしないようにしましょう。⑤「単刀直入」の本来の意味は、「一本の刀を持ち、ただひとりで敵陣に切り込む」というもの。そこから「回りくどい方法をとらずに、いきなり本題に入る」という意味へ転じたようです。